

近年の自転車施策の動向



目次

1.自転車活用推進法について	1
2.自転車活用推進計画について	3
3.自転車施策に関する先行事例について	4

1 自転車活用推進法について

■目的

極めて身近な交通手段である自転車の活用による環境への負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康増進等を図ることが重要な課題であることに鑑み、自転車の活用推進に関し、基本理念や自転車の活用推進に関する施策の基本となる事項を定め、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進すること。

■基本理念

- 自転車は、二酸化炭素等を発生せず、災害時において機動的
- 自動車依存の低減により、健康増進・交通混雑の緩和等、経済的・社会的な効果
- 交通体系における自転車による交通の役割の拡大
- 交通安全の確保



自転車の活用を総合的・計画的に推進

■責務

- 国：自転車活用推進計画を策定し、自転車活用を総合的・計画的に推進
- 地方自治体：国と適切に役割分担し、地域の実情に応じた市町村自転車活用推進計画を策定・実施

1 自転車活用推進法について

■基本方針

以下の施策を重点的に検討・実施

- 自転車専用道路等の整備
- 路外駐車場の整備等
- シェアサイクル施設の整備
- 自転車競技施設の整備
- 高い安全性を備えた自転車の供給体制整備
- 自転車安全に寄与する人材の育成等
- 情報通信技術等の活用による管理の適正化
- 交通安全に係る教育及び啓発
- 国民の健康の保持増進
- 青少年の体力の向上
- 公共交通機関との連携の促進
- 災害時の有効活用体制の整備
- 自転車を活用した国際交流の促進
- 観光来訪の促進、地域活性化の支援

暮らし上手さんは
いろんな自転車を使いこなす

時計と自転車とスーツ
オレの新しいビジネススタイル

自転車での観光の発展

【出典：国土交通省 自転車活用推進本部HP】

2 自転車活用推進計画について

■計画期間

各種交通施策計画等を踏まえ、長期的な展望を視野に入れつつ、令和2年度(2020)までとする。

■4つの目標と18つの実施すべき施策

1 自転車交通の役割拡大による 良好な都市環境の形成

- 施策1 自転車通行空間の計画的な整備推進
- 施策2 路外駐輪場等の整備及び違法駐車取締りの推進
- 施策3 シェアサイクルの普及促進
- 施策4 地域のニーズに応じた駐輪場の整備推進
- 施策5 自転車のIoT化の推進
- 施策6 まちづくりと連携した総合的な取組の実施

2 サイクルスポーツの振興等による 活力ある健康長寿社会の実現

- 施策7 国際規格に合致した自転車競技施設の整備促進
- 施策8 サイクルスポーツ振興の推進
- 施策9 自転車を活用した健康づくりの推進
- 施策10 自転車通勤等の促進

3 サイクルツーリズムの推進による 観光立国の実現

- 施策11 国際的なサイクリング大会等の誘致
- 施策12 世界に誇るサイクリング環境の創出

4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

- 施策13 安全性の高い自転車普及の促進
- 施策14 自転車の点検整備の促進
- 施策15 自転車の安全利用の促進
- 施策16 学校における交通安全教育の推進
- 施策17 自転車通行空間の計画的な整備推進（施策①と同様）
- 施策18 災害時における自転車活用の推進

これらを参考に
地方版自転車活用推進計画の施策を決定

3 自転車施策に関する先事例について

事例1 シェアサイクルの普及促進「広島市シェアサイクル ぴーすくる」(運営:(株)ドコモ)

- 自転車を活用した**観光振興**や**地域活性化**を図る取組として、平成27年2月22日から供用開始。
- **市民の日常生活の移動手段としても利用されている**ことから、平成30年度からは、**商業施設**へのサイクルポートの新設等により市民の日常利用も促進しながら、事業を実施中。

料金プラン

● **観光プラン:** 窓口や無人販売機で手軽に購入できます。

プラン名	料金(税込)	貸出可能時間	お支払い方法	申し込み場所
1日パス	有人窓口: 1,500円/日 14:00以降: 800円/日	7:00 ┆ 23:00 返却は 24時間可能	現金 交通系ICカード (PASPYは除きます)	・ぴーすくる運営事務所 ・1日パス販売所 無人販売機設置ポート
	無人販売機: 1,080円/日			

● **会員プラン:** WEBサイトから会員登録時にプランをお選びください。

プラン名	料金(税込)		貸出可能時間	お支払い方法	申し込み場所
	基本料金	延長料金			
1日会員	基本料金:なし 1日: 1,080円	延長料金:なし ※1日1,080円 の乗り放題プランです。 ※利用日毎に 1,080円ずつ かかります。	7:00 ┆ 23:00 返却は 24時間可能	クレジットカード ドコモ払い	パソコン スマートフォン 携帯電話 ※インターネットに 接続できる 電子機器
1回会員	基本料金:なし 最初の60分: 162円/回	108円/30分毎			
月額会員	基本料金: 2,160円/月 最初の30分: 0円/月	1回の利用が30分を超過 した場合108円/30分の 超過料金がかかります。			

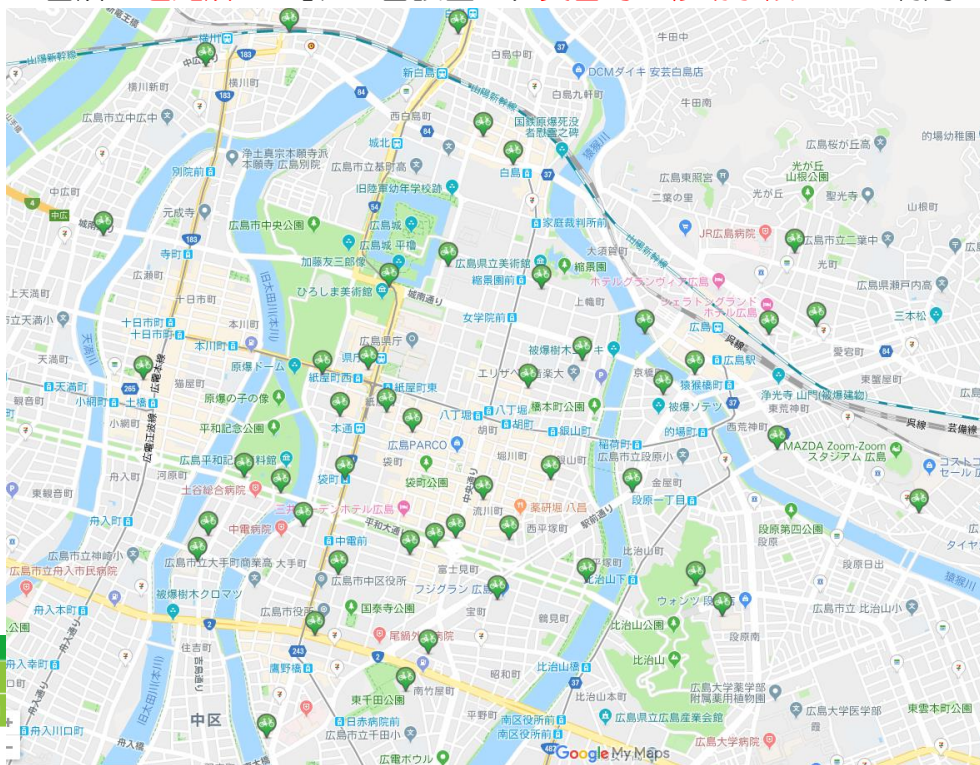
プラン	初期費用(税抜)	基本料(税抜)	延長料(税抜)
お得な 法人月額会員	ICカード発行手数料	4,000円/月	なし
法人月額会員	500円	2,500円/月	1日の利用が30分以上の場合30分毎に100円

※法人様向けプランはICカード発行が必須です。(1契約1枚の発行となります。)
※自転車をよくの人で共有するというサービスの趣旨をふまえ、長時間の占有はご遠慮願います。

■ポートマップ

市内中心部に49箇所、約350台分(平成30年12月25日現在)

6箇所の**避難所**にも計26台設置し、**災害時の移動手段**として利用



【出典：広島市シェアサイクルぴーすくるHP】

3 自転車施策に関する先事例について

事例1 シェアサイクルの普及促進「広島市シェアサイクル ぴーすくる」(運営:(株)ドコモ)

- 従来の機械型駐輪場システムではなく、自転車本体にシェアリング制御システムを搭載した新しいシステムで、導入コストを30%削減、ポートの工事不要、持ち運んですぐに使えるモビリティ性を備え、狭い場所でもどこでも使える。



保険に加入しています
万が一の事故の際もご安心



GPS/準天頂衛星で
位置データ管理
自転車位置をリアルタイム管理



簡易設置型のビーコンで
ポートを仮想管理
電源工事不要
半径5mの範囲で貸出返却可能



迅速かつ一時的にポート設置可能
電源工事をせずにイベントや災害時など
容易にポート設置可能



ICカード
(おサイフケータイ)対応
交通系ICカードや
おサイフケータイで
ワンタッチ貸出しに対応



電動アシスト付自転車
坂道でも移動が楽々



導入コスト30%以上削減
専用機械ロック不要
従来ポート型システムから導入コスト削減



3 自転車施策に関する先行事例について

事例1 シェアサイクルの普及促進「広島市シェアサイクル ピーすくる」（運営：(株)ドコモ）

- 事前にwebもしくは窓口にて会員登録後、自転車についてある操作パネルに交通系ICカード、おサイフケータイ機能付携帯電話、発行パスワードのいずれを入力して利用開始
- 返却時は、サイクルポートに自転車を戻し、施錠後に操作パネルにて返却処理



借りる

操作パネルにカード、または4桁のパスコードを入力すると、自転車の鍵が自動で開錠



返却する

手動で鍵をかけ、自転車「操作パネル」の「ENTER」を押し返却完了

3 自転車施策に関する先事例について

事例2 自転車の安全利用の促進「京都市自転車安全教育プログラム」（京都市）

- 自転車利用者に求められるルール・マナーは年齢等に応じて異なる場合があるため、子どもからお年寄りまでを対象とした、**ライフステージに合わせた自転車安全教育**に関する計画を平成30年3月に策定。

■ライフステージ別の自転車安全教育のポイント

	幼児	小学生		中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者	
	親と乗車	親と一緒に運転	ひとりで運転	行動範囲の拡大	通学での利用		通勤等での利用 子どもと乗車	加齢に応じた運転	
自転車デビュー		歩道通行も可能		車道通行が原則				歩道通行も可能	
親が子どもの自転車の安全利用の責任を持つ									
知る				知る					
わかる	覚える	覚える・わかる		わかって実践する			わかって実践し、他者にも伝える		
	自転車の運転技術の向上			危険の予測・回避			指導者としての視点		
	交通ルールの基本を覚える			事故のリスクの理解・社会的責任の認識			保護者としての視点	加齢に応じた運転	
運動・認識能力	<ul style="list-style-type: none"> ぶつからないようにするなど他者を思いやる気持ちを養う 		<ul style="list-style-type: none"> 乗車するための基本となる能力（動作）を身につける 		<ul style="list-style-type: none"> 自転車の安全な乗り方を身につける 		<ul style="list-style-type: none"> 危険を予測し、回避することができる 		<ul style="list-style-type: none"> 子ども乗せ自転車の特性を理解して運転することができる 加齢による運動・認知能力の低下を考慮した運転ができる
主なポイント 交通ルール・マナー	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な交通ルールを知る 		<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールの基本を知る 		<ul style="list-style-type: none"> 交通標識を知る 		<ul style="list-style-type: none"> 自転車にも罰則があることを知る（自転車運転者講習制度等） 		
	<ul style="list-style-type: none"> 「自転車はクルマの仲間」、「車道は左側通行」という認識を持つ 		<ul style="list-style-type: none"> 身近な危険な箇所を知る 		<ul style="list-style-type: none"> 車道で必要な走行知識を習得する 何が危険なのか、自転車事故について知る 		<ul style="list-style-type: none"> 歩道通行は例外であることを認識し、車道を通行する 自転車事故の社会的責任を知る 危険な乗り方をしない 		
自転車 の楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> 自転車に乗る楽しさ 		<ul style="list-style-type: none"> まちなかをサイクリング 		<ul style="list-style-type: none"> 趣味としての自転車 		<ul style="list-style-type: none"> 正しい交通ルールを子ども等他者にも教えることができる 子どもの自転車の安全利用の責任を持つ 		

3 自転車施策に関する先事例について

事例2 自転車の安全利用の促進「京都市自転車安全教育プログラム」（京都市）

■ライフステージ別の自転車安全教室

■ 京都市が実施中 ■ 京都市以外が実施中 今後関係機関等と連携しながら新規に実施していく事業（案）
■ 内の番号は、「取組事例（18～44ページ）」に掲載する自転車安全教室及び各種啓発等の取組の該当番号を示す。

	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
●出生	●保育園 入園 ●幼稚園 入園	●小学校 入学	●中学校 入学	●高校 入学	●大学 入学 ●運転免許取得 ●転入	●運転免許取得・更新 ●転入、就職、結婚 ●子育て	●運転免許更新 ●運転免許返納 ●子育て
座学		学校現場で実施 安全教育副読本「安全ノート」等を活用した自転車交通安全教育（市教育委員会） 1-8 「見て分かる！」自転車安全教室 1-2 自転車安全教室（事故のリスク・社会的責任編） 1-3 スケアード・ストレイト方式による自転車安全教室 1-4			自動車教習所を活用した自転車安全利用講習 ①教習生向け（右の写真） ②一般市民向け 1-5 大学生に対する交通安全教育（府警） 2-2 パパママ自転車教室 1-6 自転車安全利用推進企業による取組 1-7 自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あんしんこども館） 1-18		
実技	キックバイクを用いた子ども自転車教室 1-1 補助輪外し教室	小学生を対象とした自転車交通安全教室（市教育委員会・府警） 1-9			自転車安全利用推進員委嘱講習（京都府） 2-1 大学生に対する交通安全教育（府警、再掲） 2-2 シミュレーター等を活用した講習（府警） 2-3 ①矢羽根を活用した公道における自転車教室 ②自転車を楽しみながら学べる教室 ③サイクリングイベントの企画、支援	自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あんしんこども館、再掲） 1-18	
啓発	自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（子ども向け）		自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（一般向け） 3-1				
						自転車マナーアップフェスタin京都 3-2	
						関係団体（市行政局サービス事業推進室、各区役所、府警、地域団体等）と連携した啓発、各種イベントへのブース出展、市バス車体を活用した広報等 3-3(3-1, 3-2, 両面を長くすべての啓発)	
						自転車交通安全CMコンテスト（KBS京都、府警） 自転車安全利用推進企業による取組（再掲） 1-7 マスメディアを活用した啓発等（若者向け雑誌への広告掲載等）	
						新たな走行環境の整備を行う地域への啓発 レンタサイクル利用者（観光客、外国人）へのルール・マナーの周知徹底 外国人向けパンフレット Kyoto Safety Navi（府警）	

京都市以外の機関の取組事例については、代表的な取組を掲載

3 自転車施策に関する先行事例について

事例3 サイクルスポーツ振興の推進「しまなみ海道サイクリング」（今治市、尾道市等）

- しまなみ海道にある全長約70kmのサイクリングロードで、**世界7大サイクリングロード**に選ばれるなど、**サイクリストの聖地**として国内外から注目を集めている。
- 道中に点在する**レンタサイクル**でも走行可能で、クロスバイクや電動アシスト付自転車、タンDEM自転車など、様々な車種が用意されている。休憩所の**サイクルオアシス**も**100箇所以上**設置されている。
- 各島には様々な名所や食べ物といった観光資源があり、サイクリングだけでなく、**観光スポット**としても人気。



3 自転車施策に関する先事例について

事例3 サイクルスポーツ振興の推進「サイクリングしまなみ2018」(今治市、尾道市等)

- 高速道路を規制して行う日本唯一のサイクリング大会で、4年に1度の開催されている。
- 2018年大会では、47都道府県、参加26カ国・地域、約7,200人規模の国際的な大会となっている。



【出典：サイクリングしまなみ2018実行委員会HP】